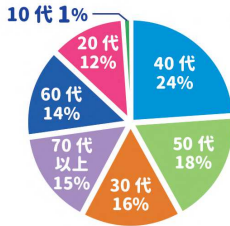


気候変動の影響及び適応策についてのアンケート調査

ダイジェスト版
調査期間：2021年9月～10月



全部で476件の回答。
県内各地域（県外からも！）、10代以下から70代以上まで、幅広い世代の方々のご協力、ありがとうございました！



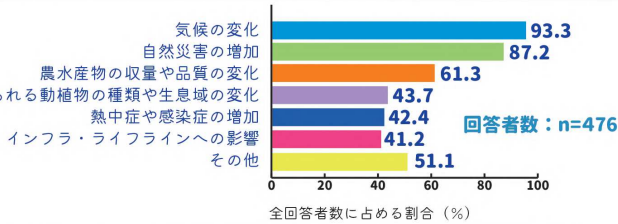
問1 気候変動の影響と聞いて、どのような事象を思い浮かべますか？（複数回答可）

極端な気象や自然災害がますます思い浮かぶね。

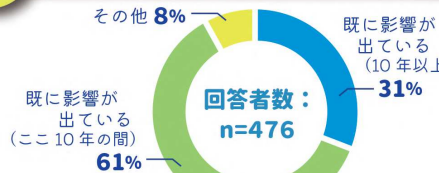
他の分野への影響も気になるなあ。



カモシカ（山梨県の動物）



問2 気候変動の影響は、あなたの身の回りにおいていつ頃から現れるとお考えですか？（1つのみ選択）



ウグイス（山梨県の鳥）

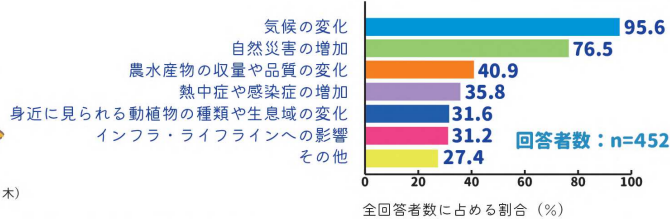
10年以上前から、10年以内という人を含わせて92%。みんな身の回りで気候変動を感じているね。

問3 どのような事象から気候変動の影響が既に現れていると思いましたか？（複数回答可）

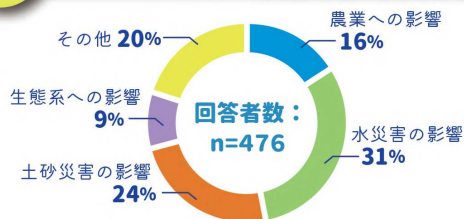
ほとんどの人が、「気候の変化」、4人に3人は「自然災害の増加」と答えているよ。2014年の大雪は、今でも話題になるね。



モミジ（山梨県の木）



問4 気候変動の影響の中で、私たちの生活においてあなたが一番不安を感じる影響は何ですか？（1つのみ選択）

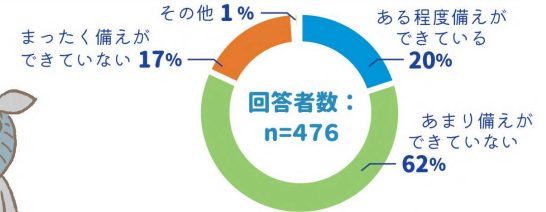


フジザクラ（山梨の花）

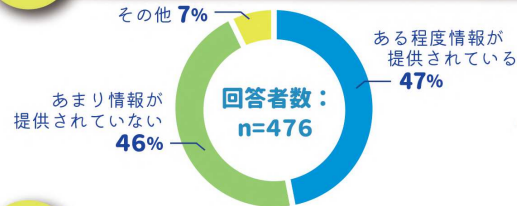
土砂災害と水災害の不安が合わせて55%。命に直接関わることは、やっぱり不安だね。

問5 問4で選んだ気候変動の影響に対して、社会で十分な備えができていますか？（1つのみ選択）

8割近くの方は、「あまり備えができていない・備えができていない」の回答。防災・農業・健康…まだまだ必要な備えがあるんだね！



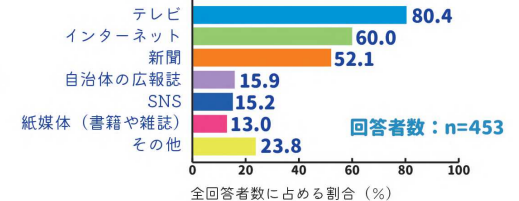
問6 気候変動の影響に関する情報の提供について、充分にされていると思いますか？（1つのみ選択）



「されている」と感じている人と、そうでない人が半分ずつくらい。情報の感じ方も人それぞれ？

問7 気候変動の影響に関する情報の提供として、どの媒体からよく見聞しますか？（複数回答可）

SNS・インターネットの時代とはいえ、まだまだTVと新聞の力は大きいなあ。



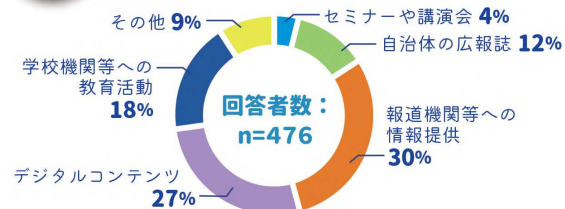
問8 気候変動の影響に関する情報の内容として、どのようなことを知りたいと思いますか？（複数回答可）



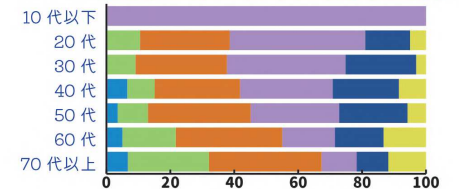
県内の影響や被害、個人でできることをあげる人が多かったよ。

報道機関等への情報提供・デジタルコンテンツの他にも、自治体への広報誌、学校機関等への教育活動をあげる声もあるね。

問9 県が、気候変動の影響に関する情報を広報するために一番効果的だと思う手段は何だと思いますか？（1つのみ選択）

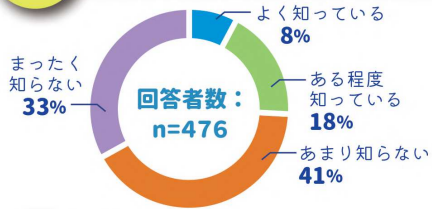


※デジタルコンテンツは、インターネット・YouTube・スマートフォン・SNSなどを含む



※気候変動の影響への対策として、気候変動の影響や被害を回避・軽減する対策

問10 あなたは「適応策※」という言葉を知っていますか？(1つのみ選択)



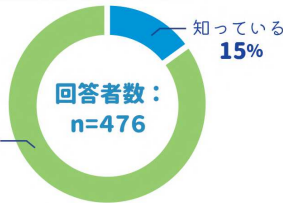
「温暖化防止」に取り組むのはもちろんだけど、それでも起きてしまう影響にきちんと対応していこうというのが「適応策」。

問11 県では、適応策を推進するために「やまなし気候変動適応センター」を設置しましたが、あなたは知っていますか？(1つのみ選択)

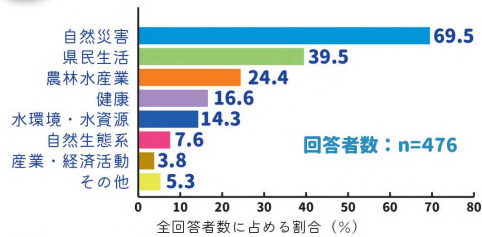
山梨県でも2021年2月に、「やまなし気候変動適応センター」が設置され、研究機関等と連携しながら活動をはじめているよ。



今回のアンケートで初めて知った



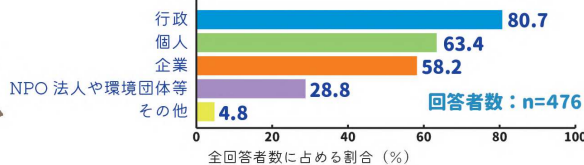
問12 気候変動の影響に対して、県が優先的に進めていくべき対策はどの分野だと考えますか？(2つまで選択)



「自然災害」が第1位、「県民生活」が第2位。「農林水産業」が第3位。

問13 気候変動の影響に対処するために、どの主体が行動しなければならないと思いますか？(複数回答可)

行政・個人・企業・NPO等の順。それぞれのできることと共に、お互いにパートナーシップで取り組むことが大事！



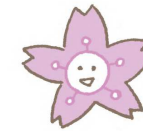
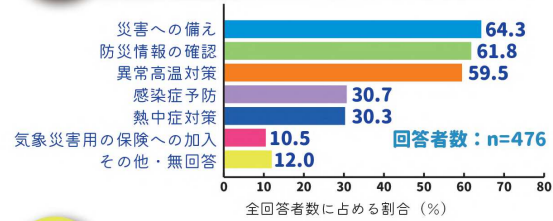
もっと！知りたくなったら...

◆『山梨県地球温暖化防止活動推進センター』公益財団法人キープ協会

〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里 3545 清泉寮やまねミュージアム内 TEL：0551-48-8011 FAX：0551-48-3577 Mail：eco@keep.or.jp HP：https://www.keep.or.jp/yccca/



問14 次の気候変動への対応について、日頃から取り組んでいる、またはこれまでに取り組んだ事があるものを選択してください。(複数回答可)



災害への備えや防災情報の確認、異常高温・熱中症対策、感染症予防に取り組んでいる人がたくさんいるよ。

問15 自由に皆さんの意見を聞かせてください。

生態系が豊かになる方向に根本的な解決法がある。エネルギー自給を高め、資源の無駄遣いを無くし、地域資源の活用を進める。



ひとりひとりが自ら「やらなくてはいけない」と思えるような意識づけがとても大切だと思います。

さまざまなご意見ありがとうございます。「自然豊かな山梨だからこそ」「子どもも大人も、行政も企業も、みんなやれることを！」「防災・教育・それぞれができること」といった視点が多かったです。未来を生きる人たちに、どんな山梨の社会や自然を手渡していけるかは、今を生きる私たち次第！



気候変動に伴う自然災害はすでにいつどこで起きてもおかしくない状況なので、緊張感をもって備える事が大事。

地域の気候変動影響に関するワークショップを行いました！

11月に、県民アンケートの結果を共有し、山梨県での気候変動適応をみんなでディスカッションする場をもちました。地域にあった緩和策・適応策の必要性を学ぶことができるワークショップ「気候変動適応ミステリー」の体験も行き、気候変動教育の専門家からのアドバイスもいただきました。参加者からは「やまなし4パーミルなど、山梨だからこそこの取組はいいよね」「高校生もこの場で一緒にいてくれたことで、大人世代の責任を改めて感じた」等の声をいただきました。



◆『やまなし気候変動適応センター』

事務局：山梨県環境・エネルギー部環境・エネルギー政策課
TEL：055-223-1506 FAX：055-223-1636 Mail：yccca@pref.yamanashi.lg.jp
HP：https://www.pref.yamanashi.jp/kankyo-ene/tekioucenter/top.html